

歴博くらしの植物苑だより

第12回『日本の植物文化を語る』 2月24日(土) 13:30~15:30 本館講堂

「古代植物文化史一心と体を支える植物たち」 辻誠一郎(東京大学)

第96回『くらしの植物苑観察会』 3月24日(土) 13:30~15:30 くらしの植物苑

「梅と桃と桜」 澤田和人 (本館研究部情報資料研究系)

冬の華・サザンカ“ハルサザンカ”展示中

ハルサザンカ群

ハルサザンカ群の殆どの品種が咲いてきました。ハルサザンカ群はサザンカ群やカンツバキ群とは違い、花色が華やいでいます。また芳香のあるものもあるので、温室の中はいい香りが立ち込めています。



チョット珍しい果実2

ハンカチノキ (ハンカチノキ科ハンカチノキ属) ダビディア

5月に咲いた花が果実になり、こんな果実(石果)になりました。果実の中には種子がみれます。



冬の樹形



果実(石果)



果実の断面

ヒメサザンカ (ツバキ科ツバキ属)

沖縄に分布する2~3cmの極小輪の白花が野生種です。ツバキ属の中では一番芳香が強く、梅に似たあまい香りがあります。苑内のものは桃色で、ヤブツバキとの交配で作出した雑種の1つです。芳香がありますので楽しんでください。



ニオイミツマタ (ジンチョウゲ科ミツマタ属)

葉より先に黄色の花が咲きます。花には花弁がなく、がくは黄色の筒形で、外面は白い絹毛で覆われています。また枝が3本に分かれるので特徴的な木です。ミツマタは和紙の原料木として栽培されています。苑内にはミツマタと本種がありますが本種はかすかな芳香があります。



オオタザクラの定植

2003年よりポット植えにされていたオオタザクラを定植しました。昨年は小さな花芽を付けただけで、大きく開きませんでした。今年はどうか今から楽しみです。



定植した状態



5月始めに咲いた花

